

KWONAI'S WORLD

The Israel
Goldman
Collection

ゴールドマン コレクション

河鍋曉斎の世界

2026

10.10 SAT - 12.6 SUN

[開館時間] 10:00~17:30 ※展示室の入室は17:00まで

[休館日] 毎週月曜日 ※月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館。

[観覧料] 一般:1,500円(1,300円) / 70歳以上:800円(700円) / 大学生以下 無料

※()内は前売及び20名以上の団体料金。収蔵品展・ロダン館も合わせてご覧いただけます。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証・指定難病登録者証の交付を受けている方と付添者1名は無料。 ※作品保護のため、会期中展示替を行います。

主催:静岡県立美術館、朝日新聞社 後援:ブリティッシュ・カウンシル

協賛:ライブアートブックス(大伸社) 協力:全日本空輸

〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田53-2 054-263-5755

<https://spmoe.shizuoka.shizuoka.jp/>

静岡県立美術館

Shizuoka Prefectural Museum of Art

幕

幕 末から明治にかけて活躍し、今なお国内外で高い人気を博す河鍋曉斎(1831-89)。はじめ浮世絵師の歌川国芳、その後は駿河台狩野派の前村洞和・狩野洞白陳信のもとで絵を学び、独自の画風を確立しました。手がけた画題は幅広く、神仏から妖怪、動物、さらに世相を反映した風俗画や戯画に至るまで多岐にわたります。旺盛な創作活動を展開した曉斎ですが、実は静岡県とも縁が深く、沼津に移り住んでいた母親を訪ね、さらに地元の人々とも交友がありました。本展では、世界屈指の曉斎コレクターとして名高い、ロンドン在住のイスラエル・ゴールドマン氏のコレクションより厳選された約110件の作品を展示します。その半数以上が日本初出品となる貴重な機会です。卓越した技術と豊かな発想力が織りなす、曉斎の多彩な世界をお楽しみください。



1「蛙の学校」 明治零年代中頃(1870年代前半)



2「百鬼夜行回屏風」 明治4~22年(1871-89)



3「蝶と菊に猫」 明治4~22年(1871-89)



4「地獄太夫と一休」 明治4~22年(1871-89)

関連イベント

※情報保障(手話通訳等)を要する場合は、14日前までを目途にご連絡ください。

館長美術講座
「ゾウに乗って曉斎の世界へ」
11月15日(日)14:00~
講師:木下直之(当館館長)
会場:講堂
観覧券不要/申込不要

学芸員によるフロアレクチャー
10月25日(日)、11月14日(土)
各日14:00~
集合場所:第1展示室
要観覧券/申込不要

曉斎クイズラリー
11月3日(火・祝)10:00~15:00
受付:本館前
展示室入口付近
要観覧券/申込不要

展覧会ワークショップ
11月23日(月・祝)
会場:実技室
要観覧券/要申込
10月初旬より募集開始予定。
詳細はウェブサイトをご覧ください。



次回展覧会 開館40周年記念展 おかげさまで展
静岡県立美術館を支える寄贈コレクション 2027年1月23日(土)~3月28日(日)
静岡市美術館展覧会のご案内 わたしたちのルノワール 日本が愛した、幸えた画家
2026年9月22日(火・祝)~11月15日(日)

チケット販売所

前売券は2026年10月9日(金)まで販売

前売・当日券
チケットぴあ[Pコード:687-487]
セブンチケット[セブンコード:115-984]
ローソンチケット[Lコード:42273]
静岡県立美術館

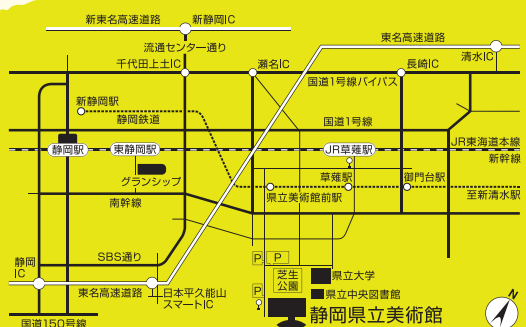
前売券のみ
大和文庫
静岡市美術館ミュージアムショップ

アクセス

- ・JR「草薙駅」県大・美術館口から徒歩約25分、または静鉄バスで約6分。
- ・JR「静岡駅」北口から静鉄バスで約30分、または南口からタクシーで約20分。
- ・JR「東静岡駅」南口から静鉄バスで約20分、またはタクシーで約15分。
- ・静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分。
- ・東名高速道路 静岡IC・清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから約15分。
- ・新東名高速道路 新静岡ICから車で約25分。

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
お問合せ [企画総務課] Tel.054-263-5755
[学芸課] Tel.054-263-5857

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art



わたしたちは、静岡県立美術館開館40周年を応援しています

コアサポーター



サポーター



裏面(切り抜きの画像右上より順に)5「能狂言画聚」より「船弁慶」、6「怪々曉斎漫画小品」より「鴉天狗の郵便配達」、7「猫の月見」 表面(行列右上より順に)8「馬上狐図」、9「鍾馗騎象図」、10「酒香童子図絵」より第16図、11「放屁合戦図」、12「怪々曉斎漫画小品」より「鶴上の御福」、13「蛙の大名行列」、14「能狂言画聚」より「夕日と狐」、15「動物の曲芸」、16「月下骸骨宴会図」、17「枝上寒鴉図」、18「開化蛙」、19「怪々曉斎漫画小品」より「鍾馗の教授」、20「猫又図」、21「地獄太夫と一休」、22「半身達磨図」、23「三味線を弾く洋装の骸骨と踊る妖怪」、24「酒香童子図絵」より第15図、25「百鬼夜行」(いずれも作者は河鍋曉斎、所蔵はイスラエル・ゴールドマン・コレクション) 1、3、4、6~12、15、21、24はPhoto: Ken Adlard 2、5、13、14、22、23、25は写真協力: 立命館大学アート・リサーチセンター